

### (柱3) 子育て・教育環境の再興（整備・充実）

≪総合戦略 基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる≫

#### ○施策の方向性

少子高齢化のさらなる進展により本市の人口は減少を続けています。市民へのアンケート調査では出産に関して、「理想の子ども数」に「実際の子ども数」が追い付いていない状況が見られ、その大きな理由は「経済的な負担」や「育児に対する心理的・肉体的な負担増への不安」にあることが分かります。

市民の出産・子育ての希望をかなえ、出生数を増やしていくためには、安心して子どもを産み、育てやすい環境が必要です。保健師や助産師による切れ目のない継続的な支援による心理的負担の軽減、そして、すべての子どもたちに適切な医療サービスや教育の機会が提供されるよう経済的負担の軽減を図ります。併せて、保育所の定員拡充や児童の充実した放課後活動の環境整備など保護者のワーク・ライフ・バランスの実現に向けた施策を展開します。

また、子どもたちが成長していく過程で、「教育」は大変大きな役割を担っています。学校・家庭・地域が共通の意識を持ち、相互に連携を図りながら子どもの教育に取り組むことを前提に、多様な学習機会の提供による学力の向上、教員の指導力の向上、支援や配慮を必要とする子どもたちへの適切な支援体制の整備に向けた施策を進め、教育環境の充実を図ります。

#### ○数値目標

項目	基準値	実績値 (2018)	実績値 (2019)	目標値 (2021年[度])
<b>合計特殊出生率</b> 15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に産むとしたときの子どもの数に相当	1.31 (2016年)	1.27 (2017年)	1.27 (2018年) ※2019年は集計中 (1月頃確定)	1.42
<b>「横須賀市に住み続けたい」と思う人の割合（25～49歳）</b> 市民アンケートにおける「今住んでいるところに住み続けたい」「横須賀市内のどこかに住み続けたい」を選択した人の割合（25～49歳）	81.4% (2017年度)	73.1%	参考値 (53.9%※)	85.0%
<b>教科指導内容の定着状況</b> 全国学力・学習状況調査の国語と算数/数学における全国平均正答率を基準とした本市の平均正答率の割合	小学校6年生 国語A 93.6 国語B 90.4 算数A 94.1 算数B 89.3  中学校3年生 国語A 98.2 国語B 97.0 数学A 96.0 数学B 97.7 (2017年)	小学校6年生 国語A 93.4 国語B 95.1 算数A 94.5 算数B 91.3  中学校3年生 国語A 95.9 国語B 95.2 数学A 95.5 数学B 93.8	小学校6年生 国語 87.8 算数 94.6  中学校3年生 国語 97.5 数学 95.3	小学校6年生 国語A 100.0 国語B 100.0 算数A 100.0 算数B 100.0  中学校3年生 国語A 100.0 国語B 100.0 数学A 100.0 数学B 100.0

※基準値算出時とは、選択肢が異なるため。

## ○令和2年度予算の重点投資（主な最重点施策）

### （1）出産・子育て環境の充実

#### ① 幼児教育・保育の無償化への取り組み 2,248,995 千円

（事業に係る歳出の増額分と歳入の減額分の合算額）

【こども育成部保育課、幼保児童施設課、教育委員会教育指導課ほか】

令和元年（2019年）10月から実施された国の幼児教育・保育の無償化と併せて、市独自の無償化を実施します。

- 幼稚園、保育所、認定こども園などの教育・保育施設を利用している児童にかかる保育料について、3歳から5歳は全世帯を無償化、0歳から2歳までは住民税非課税世帯を無償化
- 上記の無償化に加え、0歳から2歳は市独自に年収500万円未満相当の世帯について無償化を実施
- 私学助成の私立幼稚園に就園する児童について全ての園児世帯の負担額を無償化
- 認可外保育施設などを利用または幼稚園、認定こども園の教育利用と併せて預かり保育を利用している児童のうち、保育の必要性があると認められる児童についても、教育・保育施設の利用児童と同様に負担額を無償化
  - ・ 3歳から5歳は月額37,000円（預かり保育は月額11,300円）を上限
  - ・ 0歳から2歳は月額42,000円（預かり保育は月額16,300円）を上限

#### ② 「こんにちは赤ちゃん事業」の推進 17,314 千円

【こども育成部こども健康課】

母子健康手帳交付後の妊娠初期からの子育てに対して、切れ目のない相談体制を整えます。

生後4カ月までの乳児のいる世帯への保健師・助産師による全戸訪問などを実施し、養育環境の把握および育児不安の軽減を図ります。

- 新生児から生後4カ月までの乳児のいる世帯の養育環境の全数把握および子育て支援の実施
- こんにちは赤ちゃん訪問指導員資質向上のための研修会

③ (拡) 妊娠期から子育て期にわたる包括的な支援 7,329 千円

【こども育成部こども健康課】

妊産婦の育児不安を解消するため、母子保健コーディネーターによる妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援（横須賀版ネウボラ）を行います。

また、助産院などで産後の母子の心身のケアや、育児サポートなどを行う産後ケアを実施し、利用料を一部助成します。

- 施設型産後ケア（デイケア・ナイトケア・ショートステイ）の実施
- (新) ○ 訪問型産後ケアの実施

**\* ネウボラ**

フィンランドの妊娠から育児まで継続した包括的な支援拠点のこと。そこから派生して、本市の妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援事業を「横須賀版ネウボラ」と称する。

④ (拡) 特定不妊治療に対する支援 60,156 千円

【こども育成部こども健康課】

特定不妊治療の経済的負担の軽減を図るため、医療保険が適用されない治療費の一部を助成します。

- 1 回の治療につき 15 万円まで助成
- 初回の治療に限り 30 万円まで助成
- 特定不妊治療の一環として行う男性不妊治療に対して、1 回の治療につき 30 万円まで助成
- (新) ○ 横須賀市パートナーシップ宣誓証明制度により宣誓証明書を交付された事実婚夫婦に助成

⑤ (拡) 不育症治療に対する支援 1,172 千円 【こども育成部こども健康課】

不育症治療の経済的負担の軽減を図るため、医療保険が適用されない治療費および不育症判定検査費の一部を助成します。

- 治療費
  - ・ 助成額：1 回の治療につき 30 万円まで助成
  - ・ 限度額：1 年度あたり 30 万円まで助成
- 不育症判定検査費
  - ・ 限度額：1 年度あたり 5 万円まで助成
- (新) ○ 横須賀市パートナーシップ宣誓証明制度により宣誓証明書を交付された事実婚夫婦に助成

⑥ (拡) 不妊・不育専門相談センターの推進 739 千円

【こども育成部こども健康課】

子どもを希望する夫婦などが安心して妊娠・出産できるように、相談センターの講演会や相談会、LINE相談など相談体制の充実を図ります。

- 専用電話、来所、メールなどによる相談
- 妊活・不妊講演会および生殖医療専門医による相談会の開催
- 不妊や流産などで悩む当事者のための交流会やグリーフケアなどの実施

(新) ○ 妊娠や不妊などのLINE相談（モデル事業）の実施

**\* グリーフケア**

近い人と死別し、悲観（グリーフ）している方に寄り添い援助する取り組み。

⑦ (拡) 女性健康支援相談の充実 4,257 千円 【こども育成部こども健康課】

主に思春期から周産期の女性を対象に、望まない妊娠など支援を要する妊婦へのサポートや周産期のメンタルヘルス相談など、相談体制の充実を図ります。

- (拡) ○ 従来の相談に加え専用電話を設置し、相談窓口を充実
- 若年や経済的困窮など支援が必要な妊婦を対象とした簡易妊娠検査や、医療機関での妊娠判定費用の全額助成など
  - 周産期メンタルヘルス相談、妊娠SOS相談など
  - 妊娠・出産、子育てに関するさまざまな支援の情報を提供するハッピーマイプランパンフレットの発行

(新) ○ 周産期メンタルヘルスネットワーク会議の開催

⑧ 妊産婦健康診査、新生児聴覚検査に対する助成 177,545 千円

【こども育成部こども健康課】

安全な出産のために妊産婦健診の助成を実施し、妊産婦の健康管理の向上、産後うつ予防および経済的負担の軽減を図ります。また、聴覚障害の早期発見、早期支援を図り、音声言語発達などへの影響を最小限に抑えるため、新生児聴覚検査費を助成します。

⑨ 小児医療費の助成 1,256,910 千円 【こども育成部こども青少年給付課】

子育てにかかる経済的負担を軽減し、子どもたちが適切な医療を早期に受けられるようにするため、中学校3年生までの子どもを対象に医療費を助成します。

⑩ (拡) 子どもの感染症予防 474,776 千円 【こども育成部こども健康課】

予防接種法に基づき、「A類疾病」の発生および蔓延を防ぐため、子どもの予防接種を行います。

- A類疾病の予防接種
- (新) ○ A類疾病に区分されることとなるロタウイルスの定期予防接種  
(令和2年(2020年)10月開始)
- (新) ○ 令和2年度(2020年度)生まれで定期予防接種の対象とならない乳児に対するロタウイルスワクチンの任意接種費用の助成
  - ・限度額：横須賀市定期予防接種単価
- (新) ○ 骨髄移植などにより、定期予防接種で得られた抗体を失った者への再接種費用の助成
  - ・限度額：横須賀市定期予防接種単価

**\* A類疾病**

人から人に伝染することによるその発生およびまん延を予防するため、または、かかった場合の病状の程度が重篤になり、若しくは重篤になるおそれがあることからその発生およびまん延を予防するため特に予防接種を行う必要があると認められる疾病。

⑪ (拡) ひとり親家庭の経済的自立の促進 49,364 千円

【こども育成部こども青少年給付課】

ひとり親家庭の親の就労などを支援し、経済的自立の促進を図ります。

- 就労相談の実施
- 就業支援講習会(PC講座など)の実施
- (拡) ○ 養育費確保支援事業の実施
  - (拡) ・弁護士相談事業の実施  
年間10回 → 13回
  - (新) ・公正証書等作成促進事業の実施  
公正証書等の公的書類作成に要する費用(公証人手数料など)を全額助成
  - (新) ・養育費保証促進事業の実施  
養育費の保証契約を締結した場合に保証料相当額を助成  
限度額：5万円
- 在宅就業推進事業の実施
- 母子家庭等自立支援給付金の給付

⑫ (拡) 愛らんどの運営 79,217 千円 【こども育成部保育課】

子育てをする市民を対象に、相談、情報提供、交流の場を提供する、愛らんど(地域子育て支援拠点)およびわいわい広場を運営します。

- (新) ○ 「愛らんど田浦」にアドバイザーを配置

⑬ (新) 奨学金制度の見直し 58,360 千円 【教育委員会支援教育課】

現行の高校生への奨学金制度の抜本的な見直しを行い、新たに奨学支援金制度として再構築し、教育の機会均等を図ります。

- ・ 修学支援金(教材費等助成)：年額 8 万円
- ・ 入学支援金 (入学準備のための経費助成)：年額 6 万円

また、就学にかかる既存の基金を統合して「教育福祉支援基金」とし、就学および学資の援助など、教育の機会均等に資するための事業に充当します。

⑭ 公園のバリアフリー化などの推進 18,046 千円 【環境政策部公園建設課】

誰もが安全で安心して利用できる公園づくりを目指し、トイレを中心とした「公園のバリアフリー化」、「公園施設の機能充実」を行います。

- トイレを中心とした公園のバリアフリー化に向けた設計委託
- 公園施設の機能充実 (時計・照明灯の設置など)

⑮ (拡) くりはま花の国の施設整備 98,800 千円 【環境政策部公園建設課】

くりはま花の国フィールドアーチェリー場隣接部に津波災害時に安全に移動するための避難路を整備します。

- (拡) ○ 避難路の整備

⑯ (新) 神明第 2 公園の施設改修 20,658 千円 【環境政策部公園建設課】

市立うわまち病院が神明公園へ移転することに伴い、公園機能の一部を神明第 2 公園へ移転させるために施設改修を行います。

- 整備スケジュール
  - ・ 令和 2 年度 (2020 年度)：測量、実施設計
  - ・ 令和 3 年度 (2021 年度)：広場改修



② (仮称) 中央こども園の整備 162,997 千円 【こども育成部保育課】

上町保育園と鶴が丘保育園を統合した認定こども園と子育て支援機能を併せ持つ拠点施設を、「職員厚生会館」を改修して整備します。

○ スケジュール

- ・令和元年度 (2019 年度) : 基本設計
- ・令和2年度 (2020 年度) : 実施設計・改修工事
- ・令和3年度 (2021 年度) : 改修工事
- ・令和4年度 (2022 年度) : 開園

③ 公立保育園における主食の提供 13,242 千円 【こども育成部保育課】

保護者の負担軽減、安全でみんな一緒の食事の提供の観点から、公立保育園の給食について、3歳から5歳児に副食(おかず)のほか主食を提供します。

④ (拡) 病児・病後児保育の推進 22,022 千円

【こども育成部幼保児童施設課】

病児・病後児保育予約の利便性を高めるため、病児・病後児保育センターの空き情報の確認や利用の予約などをアプリで行うことのできるシステムを構築し、運用します。

また、(仮称)中央こども園の整備にあわせて施設整備するなど、新たな施設の設置に向けて引き続き検討します。

- 病児・病後児保育センターの運営
- (仮称)中央こども園での実施に向けた検討
- 西地区での病児・病後児施設の設置に向けた検討
- 訪問型病児・病後児保育利用に対する助成制度の実施
  - ・助成額：1時間あたり1,000円

(新) ○ 病児・病後児保育センター予約システム(アプリ)の導入

⑤ (拡) 企業内保育所の設置支援 1,010 千円

【経済部経済企画課(企業誘致・工業振興課)、こども育成部幼保児童施設課】

企業内保育所の設置が進むよう国の施策を周知するとともに、市内の企業が、子育て世代の就労を支援するために設置する保育所の設置費用の一部を製造業などの業種制限を撤廃し、助成します。

(拡) ○ 企業内保育所の設置に対する助成制度の実施

- ・補助率：3/4、限度額：100万円

⑥ (拡) 保育現場の環境改善のための取り組み 94,938 千円

【こども育成部幼保児童施設課】

教育・保育現場の環境向上、質の充実を図るため、市内の保育所などで働く経験年数7年以上で所定の要件を満たす全ての保育士などに、国の制度に上乗せして、月額4万円の処遇改善を実施します。

併せて、希望する施設に、保育士の負担軽減を図るため保育補助者を配置する経費や保育業務のICT化を行うためのシステム導入の経費を助成します。

- 保育士などに対する処遇改善加算の実施

- ・ 助成額：1人あたり4万円/月

- (拡) ○ 保育補助者雇上強化事業の実施

- ・ 5園 → 12園

- (新) ○ 保育所などにおけるICT化の推進

- ・ 11園

⑦ 教育・保育人材の確保・養成 6,051 千円 【こども育成部保育課】

教育や保育人材の確保および質の向上を図るため、各種事業を実施します。

- 神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市との共同事業

- ・ 保育士・保育所支援センターの運営（無料職業紹介）

- ・ 子育て支援員研修の実施

- ・ 保育センターの運営（保育専門講座の実施）

- 市の事業

- ・ 保育教諭資格取得支援の実施

- ・ 健康と安全講習会の実施

- ・ 保育士等キャリアアップ研修の実施

⑧ 児童養護施設などの人材の育成 29 千円

【こども家庭支援センターこども家庭支援課（こども育成部幼保児童施設課）】

児童養護施設などで働く職員の処遇改善が進むよう、研修を実施する団体に費用の一部を助成します。

⑨ (拡) 放課後児童対策の推進 685,429 千円

【こども育成部こども育成総務課】

共働き家庭など留守家庭の小学生の健全育成を図るため、公設の逸見小学校放課後児童クラブの運営委託を継続するとともに、民設民営の放課後児童クラブの運営に要する費用の一部を助成します。

また、鷹取小学校および鶴久保小学校のわいわいスクールを、より充実した新たな放課後子ども教室として運営するため、見直しを行います。

- 民設民営の放課後児童クラブに対する運営費用の一部助成
- 公設の逸見小学校放課後児童クラブの運営委託

- (拡) ○ 放課後子ども教室の拡充
- ・ 小学校 2 校 → 小学校 4 校

⑩ (拡) 中学校完全給食の実施に向けた取り組み 2,414,776 千円

令和元年度補正予算：111,554 千円

【教育委員会保健体育課、学校管理課】

令和3年(2021年)8月の中学校完全給食の開始を目指し、給食センターの整備工事などを行います。

併せて、中学校校舎に昇降機・荷受室などの整備を行います。

- 給食センター設計業務

- (拡) ○ 給食センター整備工事
- 旧平作小学校周辺地域住民向け説明会の開催
  - 昇降機・荷受室などの整備工事
  - ・ 12 校

### (3) 学力向上・学習環境の充実

#### ① 横須賀こども学力向上プロジェクトの推進 173,390 千円

【教育委員会教育指導課、教育研究所】

児童生徒に確かな学力を身に付けさせるため、「横須賀市学力向上推進プラン」に基づき、組織的に学力向上の取り組みの充実や推進を図ります。

- 土曜科学教室の開催
- 学習支援員の配置
- 小学校低学年授業アドバイザーの配置
- 小学校3年生における少人数（35人以下）学級の実施
- 学校授業改善に向けた中核教員育成研修の実施

#### ② (拡) 生活困窮世帯の子どもに対する学習支援 18,150 千円

【福祉部生活福祉課】

生活困窮世帯の子ども（中学校3年生）を対象に、全日制高等学校へ進学できるよう学習支援を行い、当該世帯の貧困からの離脱、貧困の連鎖の防止を図ります。

- 実施方法：週1回程度、コミュニティセンターなどで、数学、英語の学習会を実施

(拡) ○ 実施会場の拡充

・ 6カ所 → 8カ所

#### ③ 国際コミュニケーション能力の育成 166,188 千円

【教育委員会教育指導課】

市立学校全校にネイティブスピーカーを配置し、直接ふれあう時間を設けることで、子どもたちの国際コミュニケーション能力を育成します。

また、市立中学校3年生を対象に英検3級検定料を全額助成し、英語学習に対する意欲の向上を目指します。

- 市立中学校3年生のうち、希望者全員を対象に英検3級の検定料を全額助成
- 全小・中・高等学校にALTまたはFLTを配置

\* ALT (Assistant Language Teacher)  
外国語指導助手。

\* FLT (Foreign Language Teacher)  
外国人英語教員。

④ 子ども読書活動の推進 38,827 千円 【教育委員会教育指導課、中央図書館】

子どもの心豊かな成長につながる読書習慣を確立するため、読書に親しむ環境づくり、機会づくり、推進体制整備、読書活動の重要性の普及・啓発を行います。

- 学校司書の配置
  - ・ 27 人（1 人が 2 校を担当）
- 市立図書館から市立学校への授業で活用する図書の配送
- 3 歳児健康診査時にブックリストなどを配布

⑤（新）ICT活用教育の推進（GIGAスクール構想対応） 26,349 千円

令和元年度補正予算：458,129 千円

【教育委員会学校管理課、教育政策課】

国が提唱する「GIGAスクール構想」の趣旨を踏まえ、市立中学校・ろう学校のICT活用教育環境を整備するため、校内LANを高速大容量のネットワークに更新します。

- 既存の校内LAN回線を新規の回線に更新
- 無線化するためのアクセスポイントを必要な教室に設置

⑥ 児童生徒健康・体力向上の推進 5,787 千円 【教育委員会保健体育課】

児童生徒の体力や運動能力、運動習慣などに関する実態を把握し、体育・健康に関する指導が学校の教育活動全体を通じて適切に行われるよう推進します。

- 児童生徒一人一人の体力・運動能力、運動習慣などの把握
  - ・ 横須賀市児童生徒体力・運動能力、運動習慣など調査の実施  
対象 市立小学校3年生～中学校3年生
  - ・ 横須賀市児童生徒健康・体力向上推進委員会の開催

⑦ いじめ・不登校対策の充実 173,499 千円 【教育委員会支援教育課】

大きな社会問題となっている、いじめ・不登校に関して、未然防止、早期発見、早期対応に向けてよりきめ細かな支援に取り組みます。

- スクールカウンセラーの配置
- スクールソーシャルワーカーの配置
- 教育相談員の配置
- 小学校にふれあい相談員、中学校に登校支援相談員を配置

⑧ 支援教育の充実 114,374 千円 【教育委員会支援教育課】

「支援教育」の立場から多角的、総合的に施策を実施していきます。  
さらに、関係機関との連携を図り、学校教育全体の支援を行います。

- 特別支援学級介助員、教育支援臨時介助員の配置
- 日本語指導員、学校生活適応支援員の派遣

⑨ (新) 少年期スポーツ障害予防対策の実施 790 千円

【文化スポーツ観光部スポーツ振興課】

子どもたちが将来にわたってスポーツを楽しめる環境づくりの一環として、少年期におけるスポーツ障害予防対策を実施します。

スポーツ整形の医師や本市で活動するプロスポーツチームなどの協力を得て、野球とサッカーの2競技を対象に、検診や予防トレーニングの講習などを実施します。

- 医師による超音波検査
- 予防トレーニング講習
- 指導者向けの講話

⑩ (新) スポーツ能力測定会の開催 209 千円

【文化スポーツ観光部スポーツ振興課】

子どもたちがスポーツに接する機会を広げるため、最新の測定機器を使って運動能力を測定し、その結果からその子に合ったスポーツを見つけ、ステップアップする方法のアドバイスなどを行う「スポーツ能力測定会」を、(一財)シティサポートよこすかの協力を得て開催します。

⑪ (拡) 部活動指導員の配置 6,267 千円

【教育委員会保健体育課、教育指導課】

市立中学校の部活動に関して、顧問として実技指導や学校外での引率などが行える「部活動指導員」を配置し、市立中学校教員の負担軽減を図ります。

- (拡) ○ 部活動指導員 3人 → 4人

⑫ 小学校給食の食器の充実に向けた準備 60,620 千円

【教育委員会保健体育課】

令和3年度(2021年度)から小学校給食で使用する食器を2種類から3種類に増やすことに伴い、食器や食器の洗浄・保管に必要となる機器などを整備します。

- 食器の購入
- 熱風消毒保管庫などの整備

⑬ 学校トイレの改修 令和元年度補正予算：205,293 千円

【教育委員会学校管理課】

教育環境の質的向上を図るため、老朽化の進んだ小中学校のトイレを改修し、併せて洋式化を進めます。

- 小学校：3校
- 中学校：2校

## (4) 横須賀の特性を生かした教育機会の提供

### ① (拡) ホームタウンチーム活動の推進 1,510千円

【文化スポーツ観光部スポーツ振興課】

本市をホームタウンとしているプロスポーツチーム（横浜F・マリノス、横浜DeNAベイスターズ）の選手・コーチなどが幼稚園や学校を訪問し、体を動かし直接ふれあうことなどで、子どもたちに夢と感動を与え、スポーツに対する関心を高めます。

また、ホームタウンチームと地元地域とが連携したまちづくりを推進し、市民のスポーツに対する愛着を深めるとともに、地域の活性化を図ります。

- 選手・コーチなどが幼稚園や学校を訪問
- 横須賀市こども招待デー（横浜DeNAベイスターズ）のチラシ印刷・配布
- (新) ○ 久里浜駅自転車等駐車場の壁面に設置する横浜F・マリノスラッピングのPR
- 横須賀スタジアムへのアクセス道の電柱装飾

### ② 横浜F・マリノス選手などによるサッカー教室の開催 300千円

【文化スポーツ観光部スポーツ振興課】

本市をホームタウンとする横浜F・マリノスの選手などから直接指導を受け、共に体を動かしふれあうことで、子どもたちに夢と感動を与え、スポーツに対する関心を高めます。

- よこすかスポーツフェスタにおけるプロサッカー選手などを招いたサッカー教室の開催

### ③ (拡) スポーツリズムトレーニングの普及 3,921千円

【文化スポーツ観光部スポーツ振興課】

音楽の緩急を活用して、様々なリズムパターンを学習するスポーツリズムトレーニングを小学校の体育の授業で行い、子ども達のリズム感を養うことで、運動時の怪我の防止や運動能力の向上につなげます。

- (拡) ○ 実施する小学校 3校 → 5校